

# よこすか育成通信

題字：横須賀市長 吉田 雄人

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

## ☆新任のごあいさつ

連絡協議会会長 芦澤雄一



私たち青少年育成推進員は、市内23中学校区に、定員163名、任期2年で市から委嘱され、同時に県からは青少年指導員として委嘱されております。

今年は任期換えも済み、4月から

会長をお引き受けすることとなりました。

私たちは、青少年の健全育成や非行防止に向けて、中学校区ごとに学校関係者はじめ民生委員・児童委員、主任児童委員、町内会・子ども会など地域の様々な役員の方々と青少年育成活動地域連絡会を構成し、その中心的な役割を担っております。

青少年を取り巻く環境は、昨年の3.11以来社会全体の価値観が変化しつつも、少子高齢化のうねりの中で、いじめ、虐待、不登校、交通災害、またケータイ・ネット社会の危険性、薬物乱用など不安定要素をあげれば枚挙にいとまがありません。

このような中で、私たちは21世紀を担う青少年が健やかに育つために、地域から包み込むような見守りの目と、支え合う協力の絆を深めてまいります。世に言うおせっかいオジサン・オバサンとして、青少年が町づくりの立派なパートナーに育って行けるよう微力ながら努力したいと考えております。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



## ☆「新体制で頑張ります」

研修研究部会長 中尾 洋子

今年度より研修研究部会長となりました。

青少年育成推進員に任命されてから今年度3期目で、ずっと研修研究部会に所属してきました。

今年度メンバーが変わり、新任者が1/3をしめる部会定例会で『研修研究部会は推進員の資質の向上を計るもの』と話をした時に、資質の向上とは？と問われ、『資質の向上の第一歩とは、分からなかったことが分かること』との再任者の言葉に助けられました。

研修研究部会の皆さんと共に考え、共に悩

み、共に作っていく部会にして、楽しい活動をしていきたいと考えていますので、よろしくお願ひいたします。



## ☆環境研究部会長就任？

環境研究部会長 佐々木 教之

環境部会の部長を引き受けるにあたって、前任者の功績等を考えると、大役だと身が引き締まる思いです。

私としては6年間やって来たことを思い返しつつ、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思っています。

課題は部会への参加率を上げること。このことを常に念頭に置き、試行錯誤しながら運営していきたいと考えています。

すでに半年が過ぎましたが、環境部会の方がおとなしいのか、もう少し盛り上がるような部会にしたり、部会員の皆さんと一つになって新しい企画を立ち上げたり、環境部会全員が達成感を感じられるようにしていきたいと願っています。

私自体もまだ雲を掴むような感覚ですが、とにかく2年間部会長として頑張っていきたいと思っています。



## ☆◆◆ふる里創り◆◆☆

育成研究部会長 井上 浩文

青少年に関わる立場を続けて17年目になりますが、この間『ふる里創り』をテーマとして活動してまいりました。自分自身が居住する地域が良い街であり活気ある街であって欲しいと誰もが望むと思います。

『10年先も20年先も良い街であり続けて欲しい！』と願いませんか？

当然ながら20年先の原動力は今の子どもたちです。彼らが横須賀に愛着を持ち、横須賀で生きていく事を望まなければ、この街は衰退していくでしょう。

わんぱくフェスティバルやウォークラリーなど、多様な体験が思い出として残り、そこから自分たちの街への愛着が生まれ、次世代に繋げたいという思いから『ふる里』が意識下に形成されると思います。育成部会の活動を通して『ふる里創り』に取り組んでいきたいと考えています。

# ガンバってます!! 非行防止キャンペーン



## ☆7月7日 横須賀中央駅周辺

常葉・不入斗・大津中学校区

今にも降り出しそうな梅雨空でしたが、大津・常葉・不入斗中学校の生徒24名、学校長、教師、市長、青少年育成推進員の総勢55名が参加し、16時から横須賀中央Yデッキの上と下に分かれて実施しました。

蒸し暑い中、不入斗中学生が着ぐるみを身につけ、他の生徒は風船のグループとチラシ・ティッシュのグループに分かれ、各々通行人に協力を呼びかけました。

最初は声が小さく、はにかみがちな生徒たちが教師や推進員の声に励まされ、声も動作も大きく、堂々とした態度で臨むようになりました。無関心な人に対していかに自己アピールができるのか、この体験をこれからの学校生活に活かして欲しいと願います。

終了後、生徒たちは「やりがいがあった」「配っている人の気持ちがわかった」「笑顔で手渡すと笑顔がかえってくる、笑顔って大切だと思いました」と笑顔で話していました。

市長は「中学生が積極的なのにビックリしました。みんながこの子たちのようなら非行や犯罪がなくなるのに」と笑顔でもどられました。(鈴木 啓子)



## ☆7月21日 汐入駅周辺

坂本中学校区

例年の暑さとは打って変わって涼しい陽気、小雨の降る中、坂本中学校の生徒34名、学校関係者10名、育成関係者26名、総勢70名で行われました。

16時より市長のあいさつの後、汐入駅周辺の3か所に分かれてスタート。

どぶ板バザールも開催されていたせいか人通りも多く、なにより70名という大勢の参加者のおかげで、あっという間にチラシ・ティッシュ・風船が配られていきました。なかでも市長のチラシを配る手さばきは毎回見応えを感じずにはられません。

生徒たちの元気な声かけに街行く人たちも笑顔で受け取ってくれていました。

閉会には青少年育成活動地域連絡会会長から労いの言葉があり、今年もすばらしいキャンペーンが無事に終了しました。

(濱口 達郎)

## ☆7月28日 追浜駅周辺

追浜・鷹取中学校区

34℃を越す猛暑のなか、追浜中学校の生徒13名、鷹取中学校の生徒5名、追浜高校の生徒3名、横浜創学館高校の生徒5名と各校引率の先生方3名。

青少年育成推進員11名、青少年育成活動地域連絡会のメンバー(会長・保護司・少年補導員・PTA会長・子ども会代表・民生児童委員・連合町内会長・各種団体代表)等総勢61名で16時より追浜駅周辺で行いました。

うさぎの着ぐるみに、小さな女の子が寄ってきてニッコリ握手。

子どもたちの掛け声に、道行く人がチラシやティッシュ・風船を笑顔で受け取ってくれ

て予定時間より早目にキャンペーンは終了しました。

汗びっしょりになりながら着ぐるみを着て活躍してくれた高校生に感謝。むし暑い中、誰も熱中症にならなくて良かった。

みんなが心をつなげて絆が生まれた一日でした。  
(萩原 康子)



### ☆新任者研修会

5月19、20日 青少年会館

平成24年度青少年育成推進員新任者研修会が、土・日の2日間開催され、参加者が出席可能な1日を選択して受講しました。

まず、当協議会の芦澤会長から「青少年育成推進員がどのようなことをしているのかを理解していただき、地域や市全体での活動に対してご協力を」とあいさつがあり、和やかな雰囲気のもとに始まりました。

続いて、青少年育成推進員連絡協議会の活動と題して、協議会の役割と組織、役員構成、研究部会(広報・研修・環境・育成)の活動についての説明がありました。

次に、青少年育成推進員制度の概要として①青少年育成推進員、②青少年育成活動地域連絡会、③青少年育成担当者についての説明がなされました。

最後に、小貝こども青少年企画課長から「青少年の健全育成と地域の関わりの重要性について」というテーマで話があり、「市としては、大人が子どもたちに関心を持っていることを伝えていくこと」が重要であり、声かけなどで「子どもの成長に目を配ることや社会全体で子どもを見守る方向が必要である」と力説されていました。  
(安藤 正和)



### ☆青少年の非行・被害防止啓発パネル展示

7月2日～6日 市役所北口

『青少年の非行・被害防止全国強調月間』をテーマとして、環境部会で作成したパネルを市役所北口の掲示板を借りて毎年展示しています。このパネルは、目まぐるしく変わる昨今の青少年を取り巻く環境に対応した内容を少しでも取り入れ、多くの皆様に非行・被害防止に対する意識を高めていただくために作成しています。

また、このパネルには薬物の防止や非行に対する親の対応などが含まれていますので、中学校区での行事などに活用していただけたらと思います。  
(佐々木 教之)



### ☆わんぱくフェスティバル

子どもたちのステージ発表や関係団体による模擬店など、楽しい催しが盛りだくさん。大学のアナーコットサークルでは不用楽器をカンボジアの子どもたちに送る活動を続けています。皆様のご来場お待ちしております。  
(木藤 ひろみ)

# わんぱく2012

## フェスティバル

子どもたちのステージ発表  
中学校吹奏楽  
青少年団体コーナー  
おもちゃの病院  
(おもちゃの修理受付です)  
など

**10月21日(日)**  
**10:00~15:00**  
県立保健福祉大学

**入場無料**

- モンキーブリッジ
- マジックショー
- メイポールダンス
- 中嶋米音楽ライブ
- 模擬店コーナー  
など

ご不用になった楽器  
(鍵盤ハーモニカ・リコーダー  
鼓・カステネットなど)  
をお持ちください。  
カンボジアの子どもたちに  
送ります。

★来場者用駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。近隣小売店への駐車はご遠慮ください。  
★関係者以外の撮影はご遠慮ください。★ゴミのお持ち帰りにご協力ください。

お問い合わせ：実行委員長 芦澤 090-4835-8745  
◆主催：わんぱくフェスティバル2012実行委員会  
◆後援：横須賀市／横須賀市教育委員会／横須賀農工会館／生重学習財団

## ☆県横三地区指導員研究会

6月30日 横三地域県政総合センター

講師に人材育成コンサルタントや人間関係士である三好良子先生をお招きして「コミュニケーション力を高めるグループワーク・トレーニング」の研修を受けました。

コミュニケーションは、練習しないと上手にならないということで体験学習として進められました。

笑顔、会話なく相手を観察する1分間、相手を知ろうと握手してから会話する1分間、同じ時間の感じ方、感情の違いを体感しました。

最初の人が見せられた絵の内容を言葉だけで伝えていき、伝えられた内容を全員がそれぞれ絵にすると、だんだん情報が少なくなっていくとともに、自分の感覚で補足をしていってしまうため、少しずつズレていってしまいます。

コミュニケーションも同じで、それぞれの思いが違ってしまい、その積み重ねからズレが生じてきてしまうそうです。

人は相手に対して氷を作ってしまう、その氷を溶かすには多くの方法を持つことが大事であり、皆に同じ方法をとっても上手くいかず、それぞれの相手に合わせた溶かし方をしなくてはならないということでした。

この研修をこれからの活動に活かしていきたいと思います。(松元 陽子)



## ☆青少年の健全育成を進める県民大会

7月14日 川崎市高津市民館ホール

『社会全体で青少年を守り、支え、育てよう、～今、地域でできること～』と題し、家庭、学校、地域など関係者の連携・協力・信頼関係を深め、豊かなコミュニケーション作りを進めるうえでの課題等を考える場として開催されました。

初めに、大会主催者の黒岩知事より「このような会を開かなくても良い社会状況を望む。青少年の健全育成をするには、当事者意識を持つことが大切だ」という内容のあいさつがありました。

この後、パネリストによる問題提起、活動内容の紹介とパネルディスカッションが行われました。まず、NPO法人「親がめ」理事長の山根誠氏が、青少年の健全育成のためには、幼少期、学童期の頃から地域で連続して見守る必要性を感じ、学童クラブ「親がめ」を設立したという話をされました。

続いて「高津区地域教育会議」議長の金俊一郎氏より地域の教育力を高めるためには、いろいろな組織のつながりが大切と話されました。

次に「矢上川で遊ぶ会」代表の庄司佳子氏より、矢上川を通して自然や生き物から人との関わり合いを学ぶという活動の話をされました。

また、高校生2名の体験による、何か役割があればスムーズに地域に溶け込めたのではないかという、きっかけ作りの難しさの話をしてくれました。

最後にコーディネーターが、子どもも市民であることを意識し、自分のことを振り返り青少年のことを理解していくことが町づくりにとって大切なのだと話されました。

(栗原 恵子)

## ♪ ゆうやけこやけ ♪

仕事柄、人と接することが多い。「ありがとうございます」と言うと、大概の方が無言のまま、その場を立ち去って行かれる。何人かの方から「ありがとう」「お世話様」のことばをいただくと、その一言で大変嬉しくなり、頑張ろうという気持になる。

この仕事に就く前、自分がお客さんの立場だったとき、そのことをあまり気にも留めなかった。かえって店員さんに煩わしい声かけになっていないかと思ひ込み、またそのときの気分次第で言ったり言わなかったり。しかし、今は気持ちを込めてことばを返そうと心掛けている。あいさつも同様。一言交わすだけで、不思議と前向きな気持ちになれるような気がする。家でも極力日々の声かけを大切にしたいと思う。

(Y. W)

## 編集後記：

今期の広報研究部会は、17名が入れ替わり35名のスタート。広報活動一辺倒ではなく、青少年育成活動の問題も話し合い、意識を高めてきました。次第に気持ちが和らぎ、溶け込み、多様なアイデアも出るようになり、楽しい活動ができました。この結果が13号に折込まれていると思います。今後の青少年育成活動にご期待ください。

(編集担当 小川 輝夫)

「よこすか育成通信」第13号  
発行／横須賀市青少年育成推進員連絡協議会  
会長 芦澤 雄一  
〒238-8550 横須賀市小川町11番地  
横須賀市役所こども育成部  
こども青少年企画課内  
TEL 046-822-8223  
[http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3405/g\\_info/1100050659.html](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3405/g_info/1100050659.html)